

令和7年度盛岡第二高等学校第1回学校運営協議会 議事録

令和7年5月14日 (水)

15:20~16:30

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校運営協議会委員 6名
学校職員 11名

○日程 13:45 受付 13:55:授業参観 14:45:学校運営協議会 (~16:30)

- (1) 開会の言葉 (進行:副校長)
- (2) 委員委嘱
- (3) 出席者自己紹介
- (4) 校長挨拶 (校長)

新年度を迎えて、生徒が落ち着いて目的をもちながら生活できているという印象がある。運動部、文化部、委員会とも活発に活動している。二高の特徴として、同窓会をはじめとして外部からの支援が厚いという点があり、非常に心強い。校舎などの環境も恵まれていると思っている。

その中で、大切なのは、時代の流れを読み解いて今必要なことを生徒にきちんと教育するというところだと考えている。内向きにならないよう、皆様からご意見をいただき、これから学校経営に生かしていきたい。

(5) 会長及び副会長選出

(6) 承認事項

ア 令和7年度学校経営計画 (校長)

- 1 校訓・教育目標 『白梅精神』—「進取」「清楚」「強健」—
- 2 スクールポリシー
 - ・(2)-(2)「自分自身の在り方」と文言を変更し、「美プロジェクト」から「Beプロジェクト」にアップデートした。
- 3 魅力化協働パートナー
- 4 目指す学校像

今年度の重点目標

- ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る
- イ キャリア教育の充実により、進路希望の実現を図る
- ウ バランスのとれた教育活動を実践し、主体性と協調性の育成を図る
- エ 学校いじめ対策組織を有効に活用し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処にあたる
- オ 地域とともに歩む学校として、開かれた学校づくりを推進する
- カ 生徒を個々として尊重し不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する

委員 :「美プロジェクト」から「Beプロジェクト」に変わって、具体的に昨年度と違うところは何か。

進路課:昨年度まで職員が「美」に関する講義を行い、それについて生徒が自分のやりたいことと「美」を結び付けて考えていた。しかし、職員・生徒のやりたいことが必ずしも「美」に繋がるとは限らないことが明らかになったため、自己と対話する方向が良いということになった。そこで、「美」を内包した形で自分自身の在り方に向き合って、それを進路に繋げるという意味で「Be」とし、更に深めていくことにした。

- 委員：ＩＣＴの活用について、高校ではどのような形でタブレットを使っているのか。
- 教務課：授業や課題提出などでロイロノートを導入している。1年生の段階では課題提出が主だが、意見交換などもできるようになっているため、そちらの用途もいずれ増えてくる。ただ、使うことが目的ではないので、それによって何ができるかということを現在摸索している。
- 委員：「開かれた学校づくり」とはどういうことか。
- 校長：昨秋、各大学から先生に来ていただいて講義してもらう機会があった。また、ＪＲＣ同好会などが地域のボランティアに参加したりもしている。町中にあるという二高の立地を生かし、様々に活動をしていきたい。

（7）学校概況説明

ア 令和7年度重点目標（各課主任）

【総務課】

- 1 庶務・行事等の諸活動を円滑に運営する。
 - ・行事等はコロナ化以前に戻し実施している。
- 2 P T A（白梅振興会）活動の活性化を図る。
 - ・部活動の活発化により遠征費が増加し、白梅振興会会計予算が枯渇しているため、来年度以降の徴収金の増額が、先日のP T A白梅振興会総会で承認された。
- 3 創立130周年に向け、資料を整備する。
 - ・令和9年の130周年事業に向けて、今秋には記念事業協賛会が発足する。

【教務課】

- 1 生徒の学力向上
 - ・進路目標に見合った学習時間を確保していない生徒が多い。
- 2 教員の授業改善の推進
 - ・昨年度「ホワイトボード」の職員研修を行ったが、授業での生徒同士のＩＣＴ活用の取り組み例はまだ少ない。
- 3 円滑な校務運営
 - ・令和7年度入試の実施状況を踏まえ、令和8年度入試の在り方を検討する。

【生徒指導課】

- 1 生徒規律の確立
 - ・昨年度からTシャツ・ハーフパンツを認めている。
 - ・スマートフォンについて、マナー指導の徹底を図りたい。
- 2 生徒会活動・部活動
- 3 安全指導
 - ・登校時、下校時の自転車事故は現在1件のみ。
 - ・自転車乗車時のヘルメットの使用について、来年度義務化の予定。

【進路指導課】

- 1 生徒の進路目標の実現
 - ・学年進路ガイダンスの回数を増やす予定。
 - ・1・2年生の「総合的な探究の時間」において、「Beプロジェクト」を実施、他校とも交流する。
- 2 3年間を見通した進路指導体制の構築
 - ・推薦で進学を決める傾向は今後も続くと考えられる。生徒の適性も考慮しながら適切なガイダンスを行い、進路決定につなげていきたい。

【保健厚生課】

- 1 健康管理および保健指導の徹底
 - ・健康教室を全学年各2回実施。実施している。
- 2 保健衛生および安全管理指導の徹底
 - ・清掃分担を大幅に変更した。
 - ・体育館の雨漏りの修繕と簡易トイレの購入を希望する。

【教育相談課】

- 1 教育相談活動の充実を図る。
 - ・今年度から支援員を加えて対応している。
- 2 生徒理解に努め、支援を必要とする生徒への援助を模索する。
 - ・「こころのサポート校内研修会」を実施した。

【図書課】

- 1 蔵書・資料の充実と読書の促進
 - ・全校読書会を実施。
- 2 新聞コーナーの充実と活用の推進
 - ・新聞切り抜きによるミニプレゼンテーションを実施。

【情報・研究課】

- 1 校内teamsの運用
- 2 白梅メールの運用

【質問・意見】

委員：昨年度実施された特色入試のメリットと課題は何か。

教務課：面接で実施した。公表された基準で評価を行ったが、趣旨を理解していない受験生もいた。画一的な質問により実施しなければならないことから、内容を深めるのは難しい。

副校長：入試改革の趣旨は、結果ではなく取り組みや過程を生徒がアピールできるものにする、という点である。

校長：本校に入りたい生徒が志願してくれた、と感じている。

委員：面談を推奨していることだが、具体的な目標をどのように持たせるのか。

進路課：面談も進路も探究につながると考えている。答えのない問い合わせに対して自分がどういう姿勢で取り組んでいくかが、社会に出てから重要になる。そうした問い合わせに自分らしい答えを言える人間になるというのが、生徒の魅力化になるのではないか。従って、到達地点は生徒によって異なることになるので、面談する中で少しずつ明らかになることがあるだろう。

委員：二高は独自の魅力や在るべき姿について、イメージを持つOGが多いと思われるが、それは在校生と一致しているか。特に制服変更について。

総務課：同窓会のOGが制服変更に難色を示しているということではなく、むしろ同情的である。

生徒課：様々な意見があり、それらを総合的に判断して検討しなければならない。

（8）意見交換

- 委員：推薦入学者が多いと、入学まで勉強せず学力不足になる生徒が多くなるようだ。また、タブレットが許されることで、授業中に関係ない画面を見ている生徒も現れ、マナーの低下も目立つ。立派な生徒を育成してほしい。
- 委員：中学校の頃、先生に「あなたに合っている学校だ」と勧められて入学したが、実際に3年間じっくりと考えて過ごすことができた。手立てを与えられて系統的に育てられるという取り組みが、とても良いと思った。また、学校の安心安全は重要である。
- 委員：45分授業2年目ということで、短い時間で効果的な授業を工夫する先生方に敬意を表する。その分放課後の活動に時間を使えることで、多くの効果が期待できる。スラックスに合うデザインの制服を考えてはどうか。「Beプロジェクト」に期待している。
- 委員：探究活動についてよく解り、楽しみになってきた。大学では、生徒指導をしなくていい。高校でも、生徒の意見をよく調べてほしい。130周年に向けて、制服変更を検討してはどうか。
- 委員：女性が多い二高で、生徒が何を求めているか、汲み取っていく必要がある。授業を見たが、きちんとした取り組みが行われていた。先生方が働きやすい環境を地域で考えていくべきだ。
- 委員：個人の魅力を見つけていく、という考えが心に残った。入学して良かった、より、卒業した時にどう思うかが大事なので、それをを目指してほしい。確かに「埴輪」スタイルは昨年辺りから増えた。自転車のマナーに、特に注意してほしい。

（9）閉会